

「歩けない」「食べられない」「わからない」こうして防ぐ

まな検査を行います。それらを踏まえて、どちらの可能性がより高いか、暫定的に判断を下すこともあります」

飲み続 漢方

「用を知りなし」というのは誤りです。普通の薬と同じだと認識したほうがいいのです」（和光治療院・漢方薬局の薬剤師、平地治美氏）

普通の薬は副作用が怖いけれど、漢方薬なら大丈夫。自然由来の生薬しか使っていないし、飲ん

でも悪いことはないだろう。そんな風に思つてはいないだらうか。しかし、それは大きな間違いだ。筑波大学名誉教授で、『漢方薬副作用百科』などの著書がある内藤裕史氏が話す。

けであります。通常、あらゆる医薬品は莫大な費用と時間をかけ、動物実験や臨床試験を行い、効能、安全性を確認する。そして厚労省の認可を得て、保険適用を受けます。

しかし、日本で漢方薬の保険適用が始まったのは'76年からですが、漢方は特例でそうした治験

副作用の大きい漢方薬も、そのまま流通してしまっている。本誌が『漢方薬副作用百科』や取材を基に「危ない漢方薬」をまとめたのが、次々頁の表だ。いずれの漢方薬も薬局やネット通販などで購入できるもの。

副作用がある漢方薬で代表的なものが、**小柴胡湯**。風邪や食欲不振に効くとされてきた。前出・内藤氏が解説する。

「小柴胡湯には**黄芩**とい

身体に優しいはウソ 副作用はしつかりあります 飲み続けないほうがいい 漢方薬、その実名

「長尾クリニツク」院長 います。そうすると、家族は異変を感じていても『大丈夫なのかな』と見過ごしてしまうのです。家族はまず、行動をよく観察する、会話の時間を作るなどが大事だと思いります」(前出・馬場氏)

の長尾和宏医師が話す。
「相性の良いかかりつけ
医を見つけるのが、ベス
トだと思います。そこで
『先生、私はうつ病なん
じやないでしょうか』と
率直に聞いてみる。特に
男性は、そういうしたこと
を聞くのが恥ずかしい、

面倒くさいという人が多い。しかし、うつ病は適切な治療を行えば、99%は治ると言つていい。かかりつけ医と信頼関係を築き、なんでも聞いてみるのがいいと思います」

まずは、老人性うつの兆候を知ったうえで、家

族ときちんとコミュニケーションを取り、信頼ができる医師に相談する。そのうえで、少しでも考へるべきだ。自分から動かなければ、取り返しがつかないことになる。



「長尾クリニック」院長の長尾和宏氏

「認知症だと思っていたら、実は老人性うつ」が混同されたままになつてゐるケースが増えてい
る。パターンとしては、「うつ病は働き盛
りの年齢の人間がなるもの」という思い込みだ。
因は、「うつ病は働き盛
りの年齢の人間がなるも
の」という思い込みだ。
高齢者こそストレス量が
多いと、前出・井貫氏は
話す。

「よくある心理的ストレ
スの原因として、健康問
題、家庭問題、経済問題、
仕事などが挙げられます。
高齢者は病気などの健康

すると、役割の喪失といふ悩みも生まれます。実は高齢者は心理的ストレスが非常に多い年代なのです」

若い頃と違つて身体は思うように動かない。日々のストレスが積み重

症状こそ酷似している老人性うつと認知症だが、当然ながらまったく別の病気だ。効く薬も異なる。誤診による誤処方が怖い。順天堂大学大学院医学研究科精神・行動科学先任准教授の馬場元医師が話す。

家族にも隠さない

家族にも隠そつとする

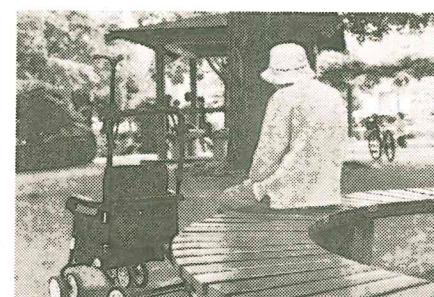
わけですから、当然効果はありませんし、副作用のリスクもあると考えたほうがいいでしょう」
高齢者に処方されることが多い抗うつ剤に、パキシル、ルボツクスなどのSSRI（選択的セロトニン再取り込み阻害薬）がある。

(精神科専門医)
化することができます」
誤った診断によつて、
認知症が進行してしまつた
のだ。反対のケースはも
つと深刻だ。本当は老
性うつなのに、医師に謁
診されたまま認知症の薬
を飲んでいたら、うつ病
の症状はどんどん悪化し
ていく。

きている。命にかかる問題なのである。

認知症は自身の症状について自覚はないが、うつ病はある。「家族に迷惑をかけたくない」と、本人が隠そうとするケースもある。

「高齢者に多い『ほほえみうつ病』という症状があります。家族に迷惑をかけてはいけないと我慢をして、無理に笑顔で接したりする。無意識のうちに、自分がうつ病のような精神疾患だと認めな



に伝わらない。そんな絶望的な状況に置かれていることが多いのです」(前出・酒井氏)

今回限り!
カラー
完全保存版

アイドルとカメラ小僧の時代

かとうれいこ 鈴木京香 南野陽子 田島都 高橋由美子
浅香唯 森尾由美 堀ちえみ 芳本美代子 本田美奈子 松田
聖子 早見優 本田理沙 酒井法子 飯島直子 観月ありさ ほか



特別企画 すごい男がいたもんだ 「昭和の怪物」研究 陸軍の異端児・石原莞

現役とOBで大違い ソニーの企業年金を見てわかるこ

対談

佐藤浩市
×清武英利
「男の仕事とカネについて」

次の元号は
もう決まっている

まもなく改元 浩宮=天皇、雅子妃=皇后 で何が変わるか

法律が変わつて、
ルールも変わる

夫が先に死んだほうが得
妹よりもう方法がある
実家はいまのうちに売つたほうがいい
親の財産、兄・姉・弟
年内に相続したほうが得
来年4月以降は損をするほか

特別定価460円

11|3

Weekly Gendai
2018 November

大特集 医療

70、80、90、100歳まで幸せに生きる
健康寿命の延ばし方

「歩けない」「食べられない」 こうして防ぐ

老人性うつと認知症

薬を間違えると命にかかる
飲み続けないほうがいい漢方薬、その実名

高血圧・コレステロール・血糖値・尿酸値
加齢黄斑変性 白内障 緑内障 脊柱管狭窄症 変形性膝関節症 前立腺肥大 不整脈
医者に薬を処方されたときの考え方

してはいけない手術 しないほうがよかつた手術

残りの人生が台無しに

実例集 手術成功、でもこんなに不幸

セツクスには人間のすべてが詰まつていて
夢にまで見たプロ野球選手になつたのに

遺産相続 ウソ・ホント